



どのような未来を目指すための事業か

土砂災害リスクを軽減するため

擁壁と防護柵をつくります

地元の声

・急勾配の山があるため、大雨が降ったりすると非常に心配。(地元住民)

事業前

◆斜面が急であるため、大雨等でがけ崩れが発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆擁壁や防護柵をつくることにより、落石や崩落した土砂を受け止め、がけ崩れによる被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ(一例)

事業の概要

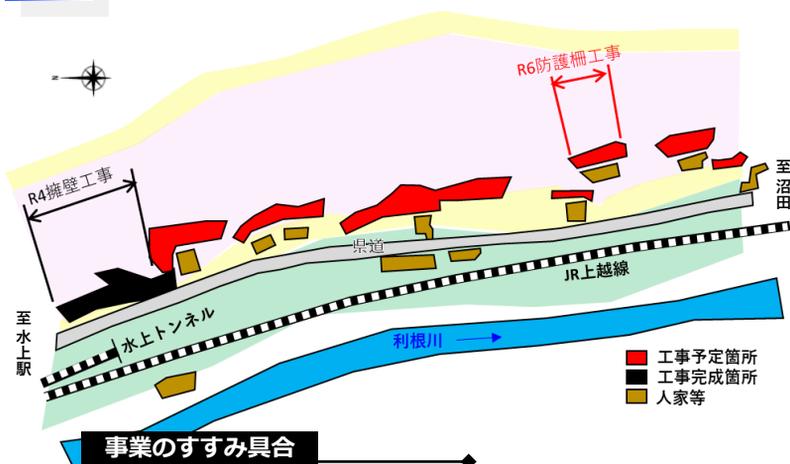
- 事業箇所：みなかみ町小日向
- 事業内容：擁壁工 延長122m
防護柵工 延長187m
- 事業期間：令和元年度～



事業位置
みなかみ町



事業の進捗状況(令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合

事業開始 ● [Progress bar] ● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、防護柵工事を実施します。



擁壁完成状況